

# **MEDIAEDGE-STB4H**

設定ガイド

# ご購入製品を使用される際の注意事項

ここでは、ご購入製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社  
カスタマーサポート  
TEL : 078-265-1552  
FAX : 078-265-1550  
(月曜～金曜10:00～12:00、13:00～17:00  
※土日祝および当社指定休日を除く)

## 安全にお使いいただくために

### 絵表示について

本製品を正しくお使いいただくために次のような表示をしています。  
内容をよく理解してから本文をよくお読みください。



### 警告

取り扱いを誤ると、死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



### 注意

取り扱いを誤ると、けがや周囲の物品を損傷するおそれのある内容を示しています。



注意

は注意を促す事項を示しています。



禁止

はしてはいけない行為を示しています。



強制

はしなければならない行為を示しています。



### 警告



禁止

#### ●電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工しないでください。ACアダプタを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。



分解禁止

#### ●キャビネットを開けない

キャビネットを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。



禁止

#### ●ほこりや湿気の多い場所では使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。



禁止

#### ●内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入った場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



禁止

#### ●雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

#### ●ぬれた手でACアダプタを触らない

ぬれた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



火災

#### ●直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。

火災や製品の故障の原因となります。



### ●煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



### ●製品が破損した状態で使用しない

本製品を落したり、カバーを破損した状態のまま使用しないでください。

火災や製品の故障の原因となります。製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。



### 注意



### ●不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。

落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。



### ●お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。

感電や製品の故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。



### ●付属のACアダプタ

会社名：

UNIFIVE TECHNOLOGY (ShenZhen) Co., Ltd.

型：UIA336-12



### ●コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは整理して配置してください。

足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。



### ●本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。

通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。



### ●長時間使わないときはACアダプタを外す

使用しないときは、安全のためACアダプタをコンセントから抜いてください。

## ■個人情報の取扱いについて

当社では、原則として①で記入いただいたお客様の個人情報は下記の目的以外では使用せず、②下記以外の目的で使用する場合は事前に当該サービス上にてお知らせいたします。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特定の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

1. ご利用の当社製品のサポートの実施
2. 当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施  
\*調査結果を当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがありますが、匿名性を確保した状態で提供いたします。
3. 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認
4. ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供
5. 懸賞企画等で当選された方お客様への賞品の発送  
\*お客様の個人情報の取扱いに関するご意見、お問い合わせは<http://www.mediaedge.co.jp>までご連絡ください。



## ご注意

- (1) 本製品の一部または全部を無断で複製することを禁止します。
- (2) 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- (3) 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- (4) 運用した結果については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (5) ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。
- (6) 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。
- (7) MEDIAEDGEはメディアエッジ株式会社の登録商標です。
- (8) HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- (9) Manufactured under license from Dolby Laboratories.
- (10) Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
- (11) Microsoft、Windowsは米国マイクロソフト・コーポレーションの登録商標です。また、その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。



## 表記について

- 本書での説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP operating systemをWindows XPと表記します。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。
- 本書では、Webブラウザは、Internet Explorer 7以降を意味します。



## 警告

### ■健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニタおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的に「めまい・意識の喪失」などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたられる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

### ■著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

MEDIAEDGE-STB4H

設定ガイド

February 1, 2012

Copyright © MEDIAEDGE Corporation

All rights reserved.

# 目 次

## Chapter 1

1 はじめに .....	2
1-1 で使用に当たっての留意事項 .....	2
1-2 パッケージ内容の確認 .....	2
1-3 当社ホームページについて .....	3
1-4 利用許諾について .....	3
1-5 ファンの交換について .....	3
2 MEDIAEDGE-STB4Hについて .....	4
2-1 概要 .....	4
2-2 特長 .....	5
2-3 ユーザーと管理者 .....	7

## Chapter 2

1 MEDIAEDGE-STB4Hの各部の名称と機能 .....	10
1-1 MEDIAEDGE-STB4H前面部 .....	10
1-2 MEDIAEDGE-STB4H背面部 .....	11
1-3 リモコン (オプション) .....	12
2 機器の接続 .....	13
3 起動・終了 .....	14
3-1 起動 .....	14
3-2 電源を切る (シャットダウン) .....	15
4 MEDIAEDGE-SVS4との接続 .....	16
4-1 設定環境の確認 .....	17
4-2 DHCPを使用する場合 .....	18
4-3 DHCPを使用しない場合 .....	21
4-4 MEDIAEDGE-STB4Hの動作を確認する .....	27
5 MEDIAEDGE-LEB4との接続 .....	29
5-1 MEDIAEDGE-STB4HのIPv4アドレスを設定する .....	30
5-2 MEDIAEDGE-STB4HにメニューページのURLを設定する .....	32
5-3 MEDIAEDGE-STB4Hの動作を確認する .....	34

6 本体の設定.....	35
6-1 WOL (Wake On LAN) .....	35
6-2 映像出力フォーマットの設定 .....	36
6-3 ディップスイッチの設定内容 .....	37

## Chapter 3

1 Webブラウザによる設定.....	40
1-1 MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールの呼び出し .....	40
1-2 準備と起動 .....	40
1-3 MEDIAEDGE-STB4H トップページ .....	41
2 ファームウェアのアップデート .....	66
2-1 Webブラウザによるアップデート .....	66
2-2 DHCPによるアップデート .....	66
3 メンテナンスモード .....	67
3-1 メンテナンスモードとは .....	67
3-2 ファームウェアの復旧 .....	69
3-3 ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合 .....	71

## Appendix

1 制限事項.....	74
2 ハードウェア仕様.....	75
3 リモコンIDの設定 .....	78
4 コネクタピン配置 .....	79



# Chapter 1

この章では、MEDIAEDGE-STB4Hのセットアップを行う前に確認していただきたい事項や、ご注意ください事項について説明します。

- はじめに
- MEDIAEDGE-STB4Hについて

## 1 はじめに

### 1-1 ご使用に当たっての留意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む間接損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

### 1-2 パッケージ内容の確認

MEDIAEDGE-STB4Hのパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました代理店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社 カスタマーサポート

電話：078-265-1552

(月曜～金曜10:00～12:00、13:00～17:00 ※土日祝および当社指定休日を除く)

### ■MEDIAEDGE-STB4H同梱物

☐ MEDIAEDGE-STB4H本体

☐ ACアダプタ

☐ リモコン (オプション)

リモコンには動作確認用の単4乾電池が2個付属しています。

☐ 取扱説明書 (本書)

### ■お客様情報登録

下記ページにて、ご購入された製品とお客様情報のご登録をお願いします。

メディアエッジ株式会社 お客様情報登録ページ

<http://www.mediaedge.co.jp/enq/u-reg.html>



### 1-3 当社ホームページについて

MEDIAEDGE-STB4Hをはじめとする当社最新情報をホームページ (<http://www.mediaedge.co.jp>) にて発信しています。最新のドライバ、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQなどを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご利用ください。

### 1-4 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部にGNU一般公衆利用許諾（GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ）またはGNU劣等一般公衆利用許諾（GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ）に該当するフリーソフトウェアを利用しています。

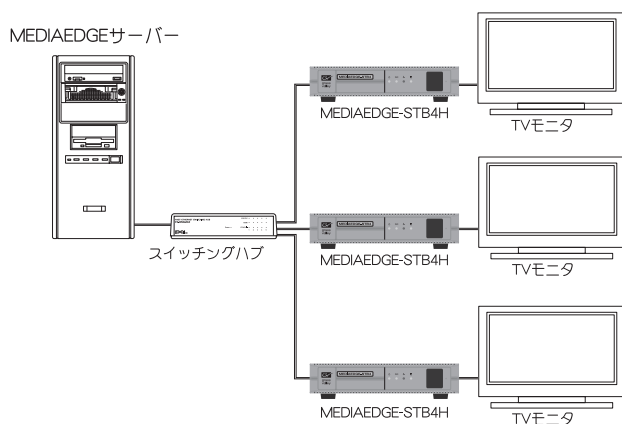
### 1-5 ファンの交換について

ファンは、消耗もしくは劣化する部品です。本機を正常に且つ安心してご使用いただくために、本製品使用開始後1年間を目安に本製品内蔵のファンを交換するようにしてください。ファンの交換につきましては、ご購入いただきました代理店もしくはシステム設置業者までお問い合わせください。

## 2 MEDIAEDGE-STB4Hについて

### 2-1 概要

MEDIAEDGEは、MPEG-2またはH.264に圧縮したビデオ映像を蓄積・送出するサーバーコンピュータと、映像を受信・再生するための端末から構成されるネットワーク型のビデオ配信・表示システムです。MEDIAEDGE-STB4Hはサーバーから受信したMPEG-2のトランスポートストリームをビデオ信号に変換し、TVモニタに表示するためのセットトップボックス端末です。



## 2-2 特長

- インターネットプロトコルバージョン6 (IPv6) に対応。
- VODメニューを使う方式と使わない方式の2種類のVODモード(メニューモード/チャンネルモード)を装備。
- W3C準拠のブラウザを搭載。
- VODメニューは入力フォームに対応し、ユーザー認証やユーザー別メニューの提供が可能。
- Internet Explorer 7以降(以下Webブラウザと表記)を使ってMEDIAEDGE-STB4Hの設定変更や遠隔操作が可能。
- シリアルポートからのシステムの設定および復旧が可能(メンテナンスモード)。
- ネットワーク経由によるファームウェアアップデート機能。
- リモートシリアルポート機能。
- DHCPによる自動設定・更新機能。
- 対応フォーマット: 1080p、1080i、720p、480pおよびNTSC/PAL
- コンポジット、HDMI出力に対応。
- FEC (Forward Error Correction) 機能によりストリーミングデータのエラー訂正が可能。

### ●対応フォーマット

- ・ビデオ
  - MPEG-2ビデオ
  - H.264
- ・オーディオ
  - MPEG-1 Audio Layer2
  - Dolby Digital
  - MPEG-2 AAC(AAC-LC)

### ●SMIL(Synchronized Multimedia Integration Language) ファイルに対応

SMIL によるマルチコンテンツ（動画、静止画、Flash、HTML、テロップ）のレイアウト再生に対応。

\* 各コンテンツは同時に1つまでしか再生できません。

\* 本機能を利用する場合は、当社製Display Content Managerが必要となります。

#### ○ 静止画

- ・ JPEG(JFIF、Exif形式)、GIF、PNG、BMP(非圧縮Windows形式)
- ・ 静止画最大サイズ2000x2000

#### ○ Flash(Flash バージョン7対応)

- ・ SWF形式

※コンテンツに含まれる音声は再生されません。

#### ○ HTML

- ・ htmlファイル

#### ○ テロップ

- ・ テキスト、RSS形式

#### ○ オーディオ

- ・ MP3(MPEG-1 Audio Layer3)
- ・ wave

※動画と排他使用となります。

### ポイント

#### ●SMILファイルについて

SMIL、複数レイアウト表示およびテロップ表示については「Display Content Manager」(別売)付属のマニュアルを参照してください。

## 2-3 ユーザーと管理者

### ●ユーザー

MEDIAEDGE-STB4Hを操作してコンテンツを視聴する人です。

### ●管理者

MEDIAEDGE-STB4Hの動作モードや動作パラメータの設定を行う人です。

本書はMEDIAEDGE-STB4Hの「管理者」を対象として書かれています。





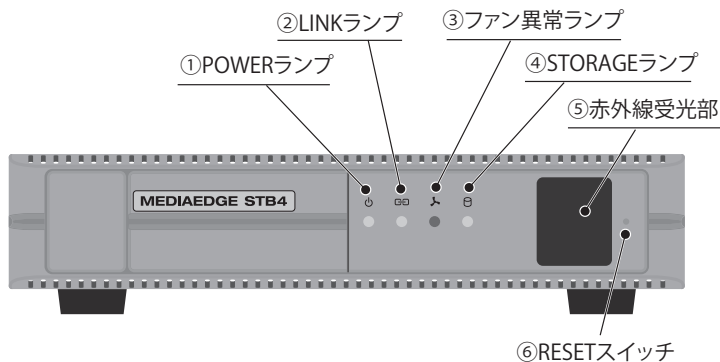
# Chapter 2

この章では、MEDIAEDGE-STB4Hの各部の機能、起動／終了方法などを説明します。

- MEDIAEDGE-STB4Hの各部の名称と機能
- 機器の接続
- 起動・終了
- MEDIAEDGE-SVS4との接続
- MEDIAEDGE-LEB4との接続
- 本体の設定

# 1 MEDIAEDGE-STB4Hの各部の名称と機能

## 1-1 MEDIAEDGE-STB4H前面部



①POWERランプ ..... MEDIAEDGE-STB4H操作時に点灯します。

- 消灯 ..... 電源が入っていません。
- 橙色点灯 ..... スタンバイ状態です。
- 橙色点滅 ..... Wake On LANスタンバイ状態です。
- 緑色点灯 ..... 動作中です。
- 緑色点滅 ..... 起動中/終了中です。

②LINKランプ ..... ネットワークの状態を表示します。

- 消灯 ..... ネットワーク機器と接続されていません。
- 点灯 ..... ネットワーク機器と接続されており、データを送受信していません。
- 点滅 ..... ネットワーク機器と接続されており、データを送受信しています。

③ファン異常ランプ ..... MEDIAEDGE-STB4H内蔵ファンのエラー時に点灯します。

- 消灯 ..... ファンが正常に動作しています。
- 点灯 ..... ファン異常を検出しました。

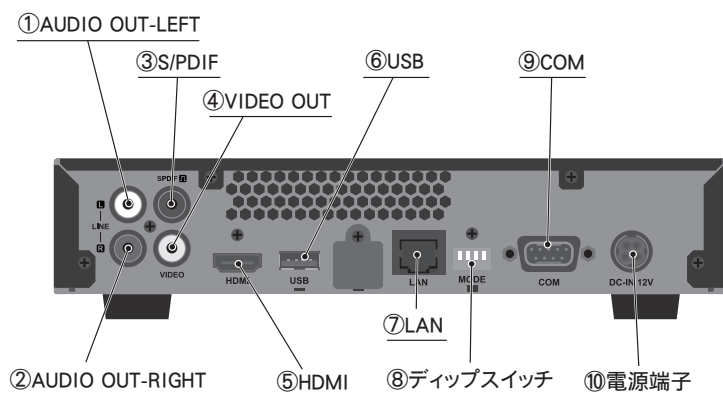
④STORAGEランプ ..... 本製品では使用しません。

⑤赤外線受光部 ..... リモコンの赤外線受光部が内蔵されています。

⑥RESETスイッチ ..... 緊急時のリセットに使用します。押してすぐにはなすとリセットします。通常は使用しないでください。3秒以上押しつづけた場合は「メンテナンスモード」へ移行します。

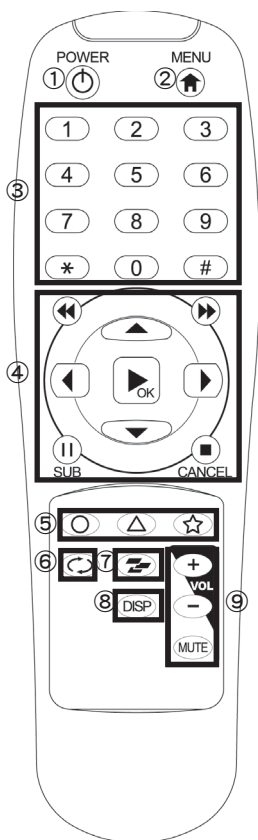


## 1-2 MEDIAEDGE-STB4H背面部



- ①AUDIO OUT-LEFT ..... オーディオ出力端子（左側）です。
- ②AUDIO OUT-RIGHT ..... オーディオ出力端子（右側）です。
- ③S/PDIF ..... 同軸デジタル音声出力端子です。
- ④VIDEO OUT ..... コンポジットビデオ信号出力端子です。
- ⑤HDMI ..... HDMI出力コネクタです。
- ⑥USB ..... 本製品では使用しません。
- ⑦LAN ..... Ethernetケーブルを接続する端子です。
- ⑧ディップスイッチ ..... WOLを有効にすると、もしくは映像出力フォーマットを変更する場合に使用します（「映像出力フォーマットの設定」または「ディップスイッチの設定内容」を参照）。
- ⑨COM ..... シリアル接続に使用します。
- ⑩電源端子 ..... 付属のACアダプタを接続します。付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

## 1-3 リモコン (オプション)



- ①POWERボタン ..... 起動/終了します。
- ②MENUボタン ..... メニューモードで動作中は、メインメニュー画面を表示します。  
チャンネルモードで動作中は、デフォルトコンテンツを表示します。
- ③数字ボタン ..... コンテンツ呼び出しや数字入力に使用します。
- ④ナビゲーションボタン ..... コンテンツ再生やメニューの選択に使用します。
- ⑤ファンクションボタン ..... システム情報を表示します。  
(△) ボタン以外は使用しません。
- ⑥リピートボタン ..... リピートのON/OFFに使用します。
- ⑦プレイモードボタン ..... 使用しません。
- ⑧ディスプレイボタン ..... 再生中のプレイインフォの表示/非表示の切り替えに使用します。
- ⑨ボリュームボタン ..... 音量の調節に使用します。

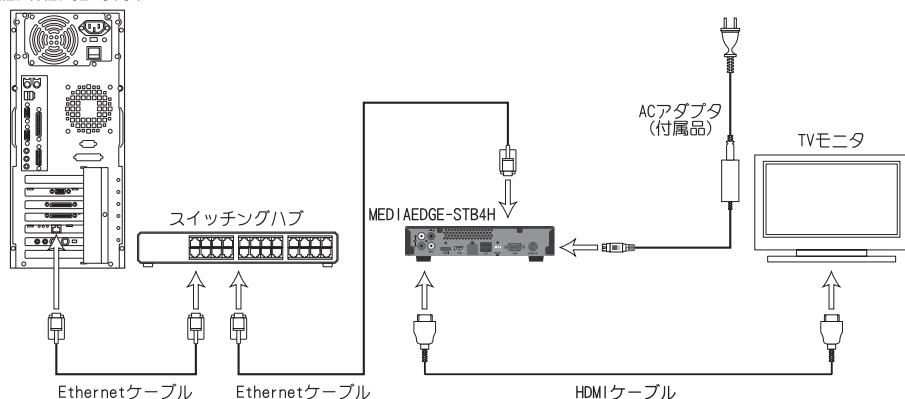
## 注意

リモコンで操作できる機能は、管理者の設定により異なります。

## 2 機器の接続

以下の接続例を参考に、MEDIAEDGE-STB4Hと周辺機器を接続してください。

MEDIAEDGE-SVS4



### 注意

MEDIAEDGE-STB4HにACアダプタを接続すると電源が入り、設定にしがってネットワーク接続を開始します。すべてのケーブルの接続が完了してからACアダプタを接続してください。電源を入れた後でネットワークケーブルを接続した場合、ネットワーク接続が確立するには多少時間がかかる場合があります。

### 注意

ビデオ出力モードの設定は、Chapter 2「6 本体の設定」を参照し、ご使用のTVモニターに適合した設定を行ってください。

### 注意

ネットワーク設定は、Chapter 2「4 MEDIAEDGE-SVS4との接続」を参照してください。

## 3 起動・終了

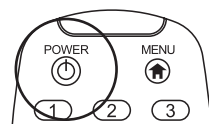
### 3-1 起動

MEDIAEDGE-STB4Hを起動します。

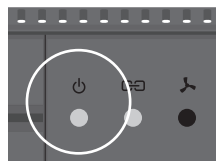
本文記載のリモコンはオプション製品となります。

- 1** リモコンのⓈ ボタンを押してください。

※設定によりリモコンを無効にしている場合は、リモコンではMEDIAEDGE-STB4Hが起動できません。前面のRESETスイッチを押して起動してください。



MEDIAEDGE-STB4H本体のPOWERランプが点滅し  
MEDIAEDGE-STB4Hが起動します。



#### ヒント


リモコンが使用できない場合、MEDIAEDGE-STB4H本体の設定でリモコンの使用が無効に設定されているか、MEDIAEDGE-STB4H本体と使用しているリモコンのIDが一致していないことが考えられます。

Webコンソールで本体側のリモコンIDを確認し、リモコン側のリモコンIDを設定してください。

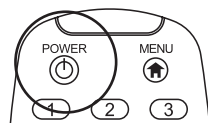
※リモコンのIDの設定については、Appendix「3 リモコンIDの設定」を参照してください。

## 3-2 電源を切る (シャットダウン)

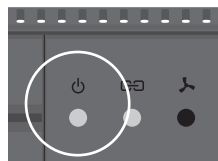
MEDIAEDGE-STB4Hの電源を切ります。

- 1** リモコンの  ボタンを押してください。

※設定によりリモコンを無効、もしくは電源のみ無効にしている場合は、リモコンではMEDIAEDGE-STB4Hを終了できません。



MEDIAEDGE-STB4H本体のPOWERランプが点滅し、MEDIAEDGE-STB4Hの電源が切れます。



### ヒント

Webコンソールの再起動/停止でもMEDIAEDGE-STB4Hの電源を切ることができます (Chapter 3参照)。

### 注意

コンテンツの更新中やファームウェアの更新中には絶対に終了しないでください。

### 4 MEDIAEDGE-SVS4との接続

ここでは以下の設定で構築されたMEDIAEDGEサーバーとの組み合わせでの使用例を説明しています。

#### ●MEDIAEDGEサーバーの機能

サーバーコンソール用Webサーバー	(Windows 標準 IIS)
クライアントコンテンツ用Webサーバー	(Windows 標準 IIS)
DNSサーバー	(Windows 標準)
DHCPサーバー	(Windows 標準)

#### ●MEDIAEDGEサーバーのネットワーク設定

IPアドレス	192.168.0.2
コンピュータ名	MEDIAEDGE-SVR
ホスト名	MEDIAEDGE-SVR
ドメイン名	localdomain
DNSアドレス	192.168.0.2
DHCPスコープ	192.168.0.16～192.168.0.250/255.255.255.0

※MEDIAEDGEを専用のネットワークで使用する場合には、これらの設定のまま利用することができます。

また、必要に応じて変更することもできます。この場合、システムをインテグレートする業者もしくはネットワーク管理者にご相談ください。

## 4-1 設定環境の確認

### ●Ethernet関連の接続を確認する

サーバーコンピュータ、スイッチングハブおよびMEDIAEDGE-STB4Hが接続されていることを確認します。Ethernetケーブルが該当する接続端子に確実に接続されているか確認してください。

### ●TVモニタとの接続を確認する

MEDIAEDGE-STB4HとTVモニタが接続されていることを確認します。MEDIAEDGE-STB4HのHDMI、もしくはVIDEO OUTおよびAUDIO OUTが入力機器側の該当する端子へ接続されているか確認してください。

また工場出荷時、ビデオ出力モードはHDMI出力端子から1080i(59.94Hz)信号を出力する設定になっています。Chapter 2「6 本体の設定」を参照し、使用するモニタ表示に適合した信号設定を行ってください。

### ●MEDIAEDGE-STB4HのACアダプタの接続を確認する

MEDIAEDGE-STB4H付属のACアダプタのプラグが本体側面の電源端子に奥までしっかり差し込まれていることを確認してください。

### ●ストリームサーバーの起動を確認する

サーバーコンピュータの[スタート]メニューから[すべてのプログラム] → [MEDIAEDGE] → [MEDIAEDGE-SVS4] → [サーバー設定ツール] と進んで、『サーバー設定ツール』を起動します。[サービス制御] タブで「サービスの状態」の表示が「開始」となっていることを確認してください。

### ●リモコンに電池を装着する

リモコンに単4乾電池(2本)を装着してください。

### 4-2 DHCPを使用する場合

MEDIAEDGE-STB4Hは工場出荷時にはDHCPを使用する状態に設定されています。本章冒頭のMEDIAEDGEサーバーのネットワーク接続例の場合、MEDIAEDGE-STB4Hの電源投入後しばらくすると以下のメニュー画面がTVモニタに表示されます。



正しくメニュー画面が表示されない場合は以下の手順にしたがって設定を行ってください。


1. MEDIAEDGE-STB4H前面部のLINKランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合はスイッチングハブの電源やEthernetケーブルの接続を確認してください。
2. DHCPサーバーの動作状態・設定を確認してください。DHCPサーバーからIPアドレスを取得するまでMEDIAEDGE-STB4Hは画面表示を行いません。

映像が表示されない場合、もしくは映像が乱れる場合は以下の内容を確認してください。

- ・「映像出力フォーマットの設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4Hのビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
- ・ネットワーク間のデータ転送が正しく行えず、データが欠落している可能性があります。ネットワークケーブルなどのネットワークに関する機器を確認してください。



## メニュー画面が表示されない場合

**1** リモコンの  ボタンを押してMEDIAEDGE-STB4Hのシステム情報を表示します。

**2** MEDIAEDGE-STB4Hに割り当てられているIPアドレスを確認します。

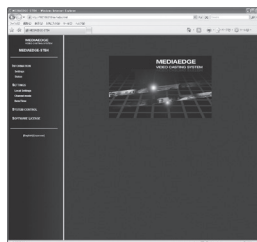
例) IPアドレス: 192. 168. 0. 16



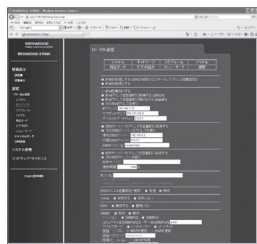
**3** サーバーコンピュータを操作してWebブラウザを起動し、MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールを開きます。アドレスバーにMEDIAEDGE-STB4HのIPアドレスを入力してください。

例) <http://192.168.0.16>

**4** MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。左下の [Japanese] をクリックしてください。



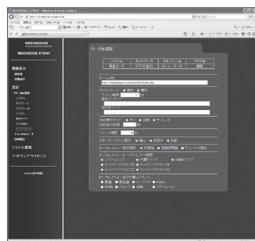
**5** [ローカル設定] → [ネットワーク] をクリックしてMEDIAEDGE-STB4Hのネットワーク設定画面を表示します。



6

[IPv4アドレスを自動的に取得する（DHCP）] および [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択します。また、左側のウィンドウで [VOD モード]をクリックして開き、[ホームURL]欄にメニューページのURL を入力します。

※工場出荷時、URLは[http://mediaedge-svr/sample/stb4/index.asp]が設定されています。サーバー名が異なる場合は[mediaedge-svr]の箇所を変更してください。



7


ローカル設定を変更した場合は 画面右上の [設定] をクリックし、[ユーザー名]、[パスワード]を入力して[設定]ボタンをクリックします。メニュー画面が正しく表示されていることを確認してください。

※ 工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。



## 4-3 DHCPを使用しない場合

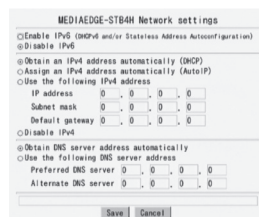
## MEDIAEDGE-STB4HのIPv4アドレスを設定する

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの  ボタンを押し続けてください。

[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]が起動します。

※MEDIAEDGE-STB4Hがすでに起動している場合は、リモコンの  ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動して、 ボタンを押し続けてください。





## ヒント

[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示されない場合はMEDIAEDGE-STB4Hの電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1の操作を行ってください。

●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4Hの前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合は、ACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. 「映像出力フォーマットの設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4Hのビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
3. MEDIAEDGE-STB4Hの背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

●[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示されず、起動画面が表示される場合

1. リモコンの  ボタンを確実に押しているか確認してください。
2. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの  ボタンを押しても[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面は表示されません。  
MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチ4をONに設定してください。

- 2 リモコンを使って[Use the following IPv4 address]にチェックを付けてください。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (IPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☒ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 0 . 0 . 0 . 0

Subnet mask 0 . 0 . 0 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

- 3 リモコンを使ってIPアドレスを入力してください。  
⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンでカーソル位置が移動します。[0]～[9]の数字ボタンで正しい数値を入力してください。

ここでは、以下のように入力しています。

IP address 192.168.0.16

Subnet mask 255.255.255.0

Default gateway 0.0.0.0

※⬇ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (IPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☒ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 192 . 168 . 0 . 16

Subnet mask 255 . 255 . 255 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

- 4 リモコンを使って[Use the following DNS server address]にチェックを付けてください。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (IPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☒ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 192 . 168 . 0 . 16

Subnet mask 255 . 255 . 255 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☐ Obtain DNS server address automatically

☒ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

- 5 リモコンを使ってIPアドレスを入力してください。  
⬆ ⬇ ⬅ ➡ ボタンでカーソル位置が移動します。[0]～[9]の数字ボタンで正しい数値を入力してください。

ここでは、以下のように入力しています。

Preferred DNS server 192.168.0.2

Alternate DNS server 0.0.0.0

※⬇ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (IPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☒ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 192 . 168 . 0 . 16

Subnet mask 255 . 255 . 255 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☐ Obtain DNS server address automatically


☒ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 192 . 168 . 0 . 2

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

6

画面上の[Save]ボタン上でリモコンのボタンを押してください。

MEDIAEDGE-STB4Hが再起動し、右の画面が表示されます。



●MEDIAEDGE-STB4Hの再起動後、画面が表示されない場合  
IPアドレスの設定が適切に行われていません。MEDIAEDGE-STB4Hの電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1～6を行ってください。

## メニュー画面が表示されない場合

1

サーバーコンピュータを操作してWebブラウザを起動し、MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールを開きます。アドレスバーにMEDIAEDGE-STB4HのIPアドレスを入力してください。(例：  
<http://192.168.0.16>)

2

MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックしてください。

3

[ローカル設定]→[ネットワーク] をクリックしてMEDIAEDGE-STB4Hのネットワーク設定画面を表示します。



**4** [次のIPv4アドレスを使う]が選択されており、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]欄に設定した値が表示されていることを確認してください。

次に[次のDNSサーバーのアドレスを使う]を選択し、[優先DNSサーバー]欄にはMEDIAEDGEサーバーのIPアドレス(例：192.168.0.2)を、[代替DNSサーバー]欄は[0.0.0.0]にして[DNSドメイン名]を[localdomain]に設定してください。

また、左側のウィンドウで[VODモード]をクリックして開き、[ホームURL]欄にメニューページのURLを入力してください。工場出荷時は[http://mediaedge-svr/sample/stb4/index.asp]が設定されています。

※DNSを使用しない場合は[優先DNS サーバー]と[代替DNSサーバー]をそれぞれ[0.0.0.0]に設定します。[DNSドメイン名]を[localdomain]、[ホームURL]を[http://<SVS4のIPアドレス>/sample/stb4/index.asp]に設定してください。


例) http://192.168.0.2/sample/stb4/index.asp

**5** ローカル設定を変更した場合、画面左上の[設定]をクリックし、[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[設定]ボタンをクリックしてください。メニュー画面が正しく表示されることを確認してください。



※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白(ブランク)に設定されています。

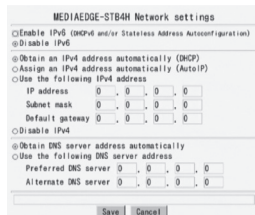
## MEDIAEDGE-STB4HでIPv6アドレスを使う

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの  ボタンを押し続けてください。

[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]が起動します。

※MEDIAEDGE-STB4Hがすでに起動している場合は、リモコンの  ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動して、 ボタンを押し続けてください。





### ヒント

[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示されない場合はMEDIAEDGE-STB4Hの電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1の操作を行ってください。


#### ●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4Hの前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合は、ACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. 「映像出力フォーマットの設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4Hのビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
3. MEDIAEDGE-STB4Hの背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

#### ●[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示されず、起動画面が表示される場合

1. リモコンの  ボタンを確実に押しているか確認してください。
2. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの  ボタンを押しても[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面は表示されません。  
MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチ4をONに設定してください。

- 2** リモコンを使って[Enable IPv6 (DHCPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)]にチェックを付けてください。

- 3** 画面上の[Save]ボタン上でリモコンの  ボタンを押してください。  
MEDIAEDGE-STB4Hが再起動し、右の画面が表示されます。



●MEDIAEDGE-STB4Hの再起動後、画面が表示されない場合  
IPアドレスの設定が適切に行われていません。MEDIAEDGE-STB4Hの電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1～3を行ってください。



## 4-4 MEDIAEDGE-STB4Hの動作を確認する

### メニュー画面が表示されることを確認する

起動後に以下のメニュー画面が表示されます。



#### ●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4Hの前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. MEDIAEDGE-STB4Hの背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

### サンプルコンテンツが再生できることを確認する

[データベースを参照する動的なメニュー]にカーソルを合わせて[▶]ボタンを押してください。次に[サンプルコンテンツ HD]にカーソルを合わせて[▶]ボタンを押してください。再生したいコンテンツ上で[▶]ボタンを押すと、選択したコンテンツの映像が再生されます。



### ●映像が表示されない場合

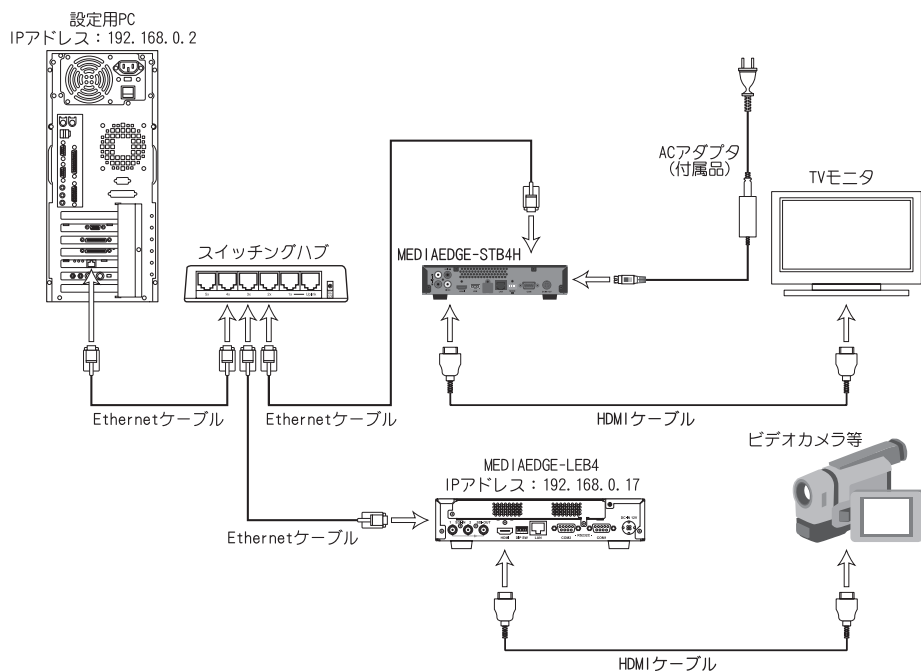
画面に[Connecting to server...]ダイアログが表示されたままの場合は、ストリームサーバーと通信が行われていません。MEDIAEDGE-SVS4付属の[サーバー設定ツール]などでストリームサーバーサービス(MeSrv)が起動していることを確認してください。

## 5 MEDIAEDGE-LEB4との接続

ここでは当社製ライブエンコーダボックスMEDIAEDGE-LEB4(以下LEB4と表記)を接続し、LEB4からのライブストリームをMEDIAEDGE-STB4Hで受信する手順を説明します。LEB4の設定方法についてはLEB4に付属のマニュアルを参照してください。

### 接続する


以下の図を例に、MEDIAEDGE-STB4H、LEB4および設定用PCを接続してください。





※設定用PCはWebブラウザを利用して、  
MEDIAEDGE-STB4HやLEB4の各種動作/パラメータを設定するために使用します。  
※LEB4では工場出荷時のビデオ入力端子はSDI1が設定されています。

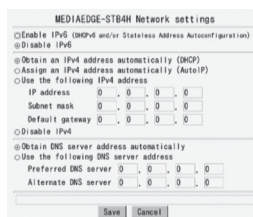
## 5-1 MEDIAEDGE-STB4HのIPv4アドレスを設定する

1

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの  ボタンを押し続けてください。

[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]が起動します。

※MEDIAEDGE-STB4Hがすでに起動している場合は、リモコンの  ボタンでシャットダウンした後、もう一度起動して、 ボタンを押し続けてください。





## ヒント

[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示されない場合はMEDIAEDGE-STB4Hの電源プラグを抜き、5秒以上経過してから再度、手順1の操作を行ってください。

●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4Hの前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。消灯している場合は、ACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. 「映像出力フォーマットの設定」を参照し、MEDIAEDGE-STB4Hのビデオ出力を使用しているモニタに適合した出力に設定してください。
3. MEDIAEDGE-STB4Hの背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

●[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示されず、起動画面が表示される場合

1. リモコンの  ボタンを確実に押しているか確認してください。
2. リモコンIDが正しく設定されているか、もしくはリモコンの乾電池が正しく装着されているかを確認してください。
3. [ローカル設定 - システム]の[ネットワーク設定画面]が[無効]に設定されている場合、リモコンの  ボタンを押しても[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面は表示されません。

MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチ4をONに設定してください。

- 2** リモコンを使って[Use the following IPv4 address]にチェックを付けてください。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (DHCPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☐ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 0 . 0 . 0 . 0

Subnet mask 0 . 0 . 0 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☒ Obtain DNS server address automatically

☐ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

- 3** リモコンを使ってIPv4アドレスを入力してください。⏮ ⏪ ⏩ ⏭ ボタンでカーソル位置が移動します。[0]~[9]ボタンで正しい数値を入力してください。

ここでは、以下のように入力しています。

IP address 192.168.0.16  
Subnet mask 255.255.255.0  
Default gateway 0.0.0.0

※⏮ボタンでカーソル位置の数字を消去できます。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (DHCPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☐ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 192 . 168 . 0 . 16

Subnet mask 255 . 255 . 255 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☒ Obtain DNS server address automatically

☐ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

- 4** リモコンを使って[Use the following DNS server address]にチェックを付けてください。

※[Preferred DNS server]および[Alternate DNS server]は0.0.0.0の状態にしておきます。

MEDIAEDGE-STB4H Network settings

☐ Enable IPv6 (DHCPv6 and/or Stateless Address Autoconfiguration)

☒ Disable IPv6

☐ Obtain an IPv4 address automatically (DHCP)

☐ Assign an IPv4 address automatically (AutoIP)

☒ Use the following IPv4 address

IP address 192 . 168 . 0 . 16

Subnet mask 255 . 255 . 255 . 0

Default gateway 0 . 0 . 0 . 0

☐ Disable IPv4

☒ Obtain DNS server address automatically

☐ Use the following DNS server address

Preferred DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Alternate DNS server 0 . 0 . 0 . 0

Save Cancel

- 5** 画面上の[Save]ボタン上でリモコンの⏮ボタンを押してください。

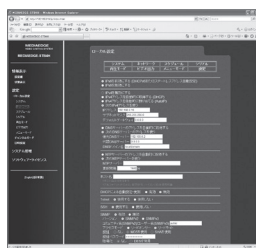
MEDIAEDGE-STB4Hが再起動します。

## 5-2 MEDIAEDGE-STB4HにメニューページのURLを設定する

- 1** 設定用PCを操作してWebブラウザを起動し、MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールを開きます。アドレスバーにMEDIAEDGE-STB4HのIPアドレスを入力してください。

例) `http://192.168.0.16`

- 2** MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールのメイン画面(英語)が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックしてください。



- 3** [ローカル設定]→[ネットワーク] をクリックしてMEDIAEDGE-STB4Hのネットワーク設定画面を表示します。

- 4** [次のIPv4アドレスを使う]が選択されており、[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]欄に設定した値が表示されていることを確認してください。

次に[次のDNSサーバーのアドレスを使う]を選択し、[優先DNSサーバー]欄と[代替DNSサーバー]欄は[0.0.0.0]にして[DNSドメイン名]を[localdomain]に設定してください。

また、左側のウィンドウの [VODモード] をクリックして開き、[ホームURL]欄にメニューページのURL[`http://(LEB4のIPアドレス)/menu/`]を入力してください。

例) `http://192.168.0.17/menu/`

## 5

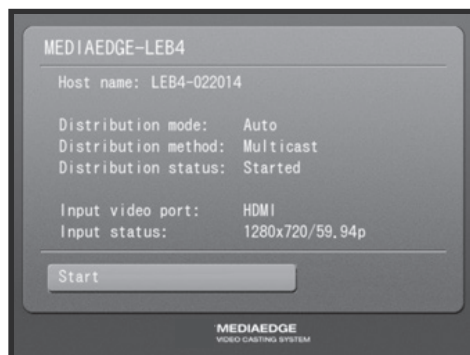
ローカル設定を変更した場合、画面右上の〔設定〕をクリックして、[ユーザー名]と[パスワード]を入力して[設定]ボタンをクリックしてください。LEB4のメニュー画面が正しく表示されることを確認してください。

※工場出荷時、[ユーザー名]はadmin、[パスワード]は空白（ブランク）に設定されています。

### 5-3 MEDIAEDGE-STB4Hの動作を確認する

#### メニュー画面が表示されることを確認する

電源投入後しばらくすると、以下のメニュー画面が表示されます。



#### ●何も表示されない場合

1. MEDIAEDGE-STB4Hの前面部のPOWERランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合はACアダプタやDCプラグの接続を確認してください。
2. MEDIAEDGE-STB4Hの背面やTVモニタのビデオケーブルの接続を確認してください。TVモニタの入力切替が、ビデオケーブルを接続している入力端子を選択できているか確認してください。

#### LEB4からのライブ配信ストリームが再生できることを確認する

MEDIAEDGE-STB4Hのリモコンを操作して[▶]ボタンを押してください。LEB4のH.264エンコードおよび配信が開始され、TVモニタに再生映像が表示されます。



## 6 本体の設定

### 6-1 WOL (Wake On LAN)

WOLは「Wake On LANスタンバイ状態」のMEDIAEDGE-STB4Hをネットワーク経由で起動させることができる機能です。MEDIAEDGE-STB4H背面部のディップスイッチ1をONにしてMEDIAEDGE-STB4Hをシャットダウンすることにより、「WOLスタンバイ状態」となります。

#### 注 意

MEDIAEDGE-STB4Hがスタンバイ状態の時にディップスイッチを変更しても「WOLスタンバイ状態」へは移行しません。  
ディップスイッチの変更後にMEDIAEDGE-STB4Hを一度起動し、その後シャットダウンしてください。「WOLスタンバイ状態」にある場合はMEDIAEDGE-STB4H前面のPOWERランプが橙色点滅します。


#### 注 意

MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチのスイッチ2とスイッチ3は設定を変更せずにOFFの状態で使用してください。

## 6-2 映像出力フォーマットの設定

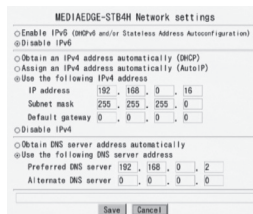
MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチ4をONにすることにより、MEDIAEDGE-STB4Hの映像出力フォーマットを設定することができます。使用するモニタに適したフォーマットに設定してください。

### ヒント

[ローカル設定-システム]の[ネットワーク設定画面]が[有効]に設定されている場合(工場出荷時の設定)は、起動時にリモコンの  ボタンを長押しすることでも同様に設定することができます。

### 設定方法

- 1 MEDIAEDGE-STB4Hが起動している場合はMEDIAEDGE-STB4Hの電源を切ります。
- 2 MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチ4をONにします。
- 3 MEDIAEDGE-STB4Hを起動し、[POWER]ランプが点滅から点灯状態になるまで待ちます。
- 4 リモコンの[DISP]ボタンを押すことで、表示されるフォーマットが切り替わります。適合する映像フォーマットになると[MEDIAEDGE-STB4H Network settings]画面が表示され、この画面でネットワークの設定も可能です。



### 注意

リモコンの[DISP]ボタンを押すと、映像フォーマットは以下のように移行します。  
 1080/59.94i(HDMI)→720/59.94p(HDMI)→720x480/59.94p(HDMI)→1080/59.94p(HDMI)→1080/50i(HDMI)→720/50p(HDMI)→720x576/50p(HDMI)→1080/50p(HDMI)→640x480/59.94p(HDMI)→NTSC(J)→NTSC(US)→PAL→...

- 5 リモコンの[POWER]ボタンでMEDIAEDGE-STB4Hの電源を切ります。
- 6 MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチ4をOFFに戻します。

### 6-3 ディップスイッチの設定内容

MEDIAEDGE-STB4H背面のディップスイッチには以下の設定が割り当てられています。



SW1 : WOL の有効 / 無効  
ON : 有効 OFF : 無効



SW2 : 常時オフで使用してください。



SW3 : 常時オフで使用してください。



SW4 : ネットワーク設定  
ON : 「MEDIAEDGE-STB4H Network settings」  
画面へ移行します。  
OFF : 指定した動作モードで起動します。





# Chapter 3

- Webブラウザによる設定
- ファームウェアのアップデート
- メンテナンスモード

## 1 Webブラウザによる設定

### 1-1 MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールの呼び出し

MEDIAEDGE-STB4Hと同一ネットワーク上にあるPCでWebブラウザを起動し、設定対象となるMEDIAEDGE-STB4HのWebコンソールを呼び出します。

例) : IPアドレスが192. 168. 0. 16である場合、次のようにURLを入力します。

`http://192. 168. 0. 16/`

MEDIAEDGE-STB4HのWebコンソールを起動すると英語画面が表示されます。画面左下の[Japanese]をクリックして日本語表示に切り替えてください。

### 1-2 準備と起動

#### 必要なシステム

Internet Explorer 7で動作確認をしています。

#### PCの設定

設定に使用するPCは設定を行いたいMEDIAEDGE-STB4Hと同一ネットワーク上に存在する必要があります。

#### Webコンソールの起動

Webコンソールを起動するには、設定を行いたいMEDIAEDGE-STB4HのIPアドレスをWebブラウザのアドレスバーに入力してください。

#### 設定パスワード

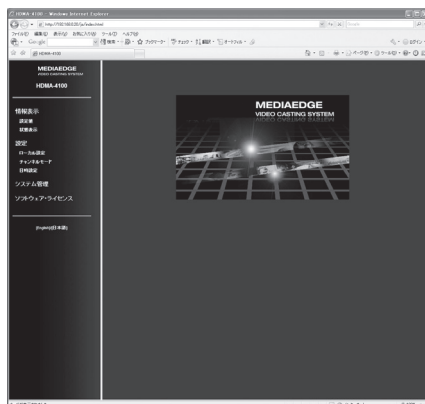
Webコンソールで設定の変更を行う場合は、ユーザーIDとパスワードが必要です。工場出荷時のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。

ユーザー名	admin
パスワード	なし(設定されていません)

ユーザー名およびパスワードは変更できます。

### 1-3 MEDIAEDGE-STB4H トップページ

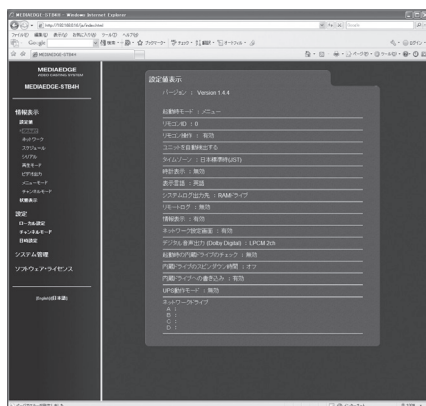
Webコンソールを起動して表示されるトップページには、次の項目が表示されています。




情報表示	[設定値]、[状態表示]ページへのリンクで構成されています。各ページでは、ファームウェアのバージョンや動作中の設定値を表示します。
設定	[ローカル設定]、[チャンネルモード]、[一括設定]、[日時の設定]ページへのリンクがあります。MEDIAEDGE-STB4H本体に保存されているローカル設定の変更や、チャンネルモードの設定、一括設定ファイルによる設定値の自動設定、日時の設定を行うことができます。
システム管理	[再起動、停止]、[設定初期化]、[ファームウェア更新]、[情報の取得]、[フォントのインストール]、[ユーザー名・パスワード変更]ページへのリンクがあります。
ソフトウェア・ライセンス	本システムで使用しているソフトウェア・ライセンス表示ページへのリンクがあります。

## 情報表示 - 設定値

「システム」、「ネットワーク」、「スケジュール」、「シリアル」、「再生モード」、「ビデオ出力」、「メニューモード」、「チャンネルモード」ページで構成されます。各ページに、現在のファームウェアバージョンが表示されています。



### ●システム

起動時モード	起動時の動作モードを表示します。
リモコンID	リモコンIDを表示します。
リモコン操作	リモコン操作の設定状況を表示します。
ユニットを自動検出する	本製品では使用しません。
タイムゾーン	タイムゾーンを使用するエリアもしくは時差を表示します。
時計表示	画面日時を表示する機能の有効/無効を表示します。
表示言語	MEDIAEDGE-STB4Hで画面に表示する言語を表示します。
システムログ出力先	本製品では使用しません。
リモートログ	リモートログの設定を表示します。
情報表示	画面にシステム情報を表示する機能の有効/無効の設定を表示します。
ネットワーク設定画面	リモコンの  ボタンで起動する「MEDIAEDGE-STB4H Network settings」の有効/無効の設定を表示します。



デジタル音声出力 (Dolby Digital)	デジタルオーディオ出力の設定を表示します。
音量	AUDIO OUT、HDMI端子から出力される音量を表示します。
起動時の内蔵ドライブのチェック	本製品では使用しません。
内蔵ドライブのスピンダウン時間	本製品では使用しません。
内蔵ドライブへの書き込み	本製品では使用しません。
UPS動作モード	本製品では使用しません。
ネットワークドライブ	本製品では使用しません。

### ●ネットワーク

IPv6	IPv6の有効/無効、IPv6アドレスの設定状況を表示します。
IPv4ネットワーク設定	現在のネットワーク設定「IPv4アドレスを自動的に取得する (DHCP)」「IPv4アドレスを自動的に割り当てる (AutoIP)」「次のIPv4アドレスを使う」のいずれかが表示されます。
IPアドレス (IPv4のみ)	現在のIPアドレス設定を表示します。
サブネットマスク (IPv4のみ)	サブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ (IPv4のみ)	デフォルトゲートウェイのアドレスを表示します。
DNSサーバー設定	現在のDNSサーバー設定を表示します。
優先DNSサーバー	優先DNSサーバーのアドレスを表示します。
代替DNSサーバー	代替DNSサーバーのアドレスを表示します。
DNSドメイン名	現在のDNSドメイン名を表示します。
NTPサーバー	NTP (Network Time Protocol) サーバーを使用した時刻補正におけるサーバーアドレスの設定および更新間隔を表示します。

ホスト名	ホスト名を表示します。
DHCPによる自動設定・更新	MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用した、DHCPによる自動設定やファームウェアの自動更新の設定を表示します。
SNMP	SNMP (Simple Network Management Protocol) の設定状況を表示します。
Samba共有	本製品では使用しません。
DGCP	DGCP (Device Group Control Protocol) に関する設定を表示します。 ポート番号： DGCPで使用するポート番号を表示します。 マルチキャストアドレス： DGCPで使用するマルチキャストアドレスを表示します。 グループID： 所属するグループのグループIDを表示します。 認証： 認証方法を表示します。 リモコン処理： リモコン操作を受信した時の動作を表示します。
バッファリング時間	ストリーミング再生時のバッファリング時間（映像遅延時間）の設定状況を表示します。
FEC	FEC (Forward Error Correction) の設定状況を表示します。
RTSPキープアライブ	RTSP (Real Time Streaming Protocol) キープアライブの有効/無効を表示します。
RTSPキープアライブ失敗時の再接続	RTSPキープアライブ失敗時の再接続の有効/無効を表示します。
RTSPエラー時のリトライ動作	MEDIAEDGE-SVS4やMEDIAEDGE-LEB4がRTSPエラーレスポンスを返した場合、RTSP接続をリトライするかの設定を表示します。

### ●スケジュール

コンテンツドライブ	本製品では使用しません。
スケジュールファイル	本製品では使用しません。
チャンネル	本製品では使用しません。

## ●シリアル

シリアルポート機能	シリアルポートの機能を表示します。
通信速度	シリアルポートの通信速度を表示します
データビット長	シリアルポートのデータビット長を表示します。
パリティ	シリアルポートのパリティ設定を表示します。
ストップビット長	シリアルポートのストップビット長を表示します。
フロー制御	フロー制御設定を表示します。
リモートシリアル	リモートシリアルの接続設定を表示します。
固定接続先ホスト名またはIPアドレス	シリアルコマンドの送信先のホスト名またはIPアドレスを表示します。
接続先ポート番号	シリアルコマンドの送信先のポート番号を表示します。
待機ポート番号	シリアルコマンドの受信に使用するポート番号を表示します。
プロトコル	通信プロトコルを表示設定します。
ログ出力	ログ出力の有効/無効を表示します。

## ●再生モード

シーク後の映像表示	本製品では使用しません。
複数台同期モード	本製品では使用しません。

## ●ビデオ出力

表示モード	出力モードを表示します。
色空間(HDMI)	HDMI出力時の色空間の設定を表示します。
RGB出力レンジ(HDMI)	HDMI端子からのRGB出力レンジの設定を表示します。
ストリーム色空間の強制設定	ストリーム色空間の強制設定の設定状況を表示します。
モニタアスペクト	アスペクト設定を表示します。
4:3モニタへ映すときのモード	モニタアスペクト比が4:3の場合の表示方法を表示します。

OSD色深度	OSDの色深度の設定を表示します。
OSD背景色 (RRGGBB)	OSDの背景色の設定を16進数で表示します。
ストリームが途絶えた時の表示	ビデオリージョンの設定状態を表示します。
クローズドキャプション	クローズドキャプションの有効/無効を表示します。

### ●メニューモード

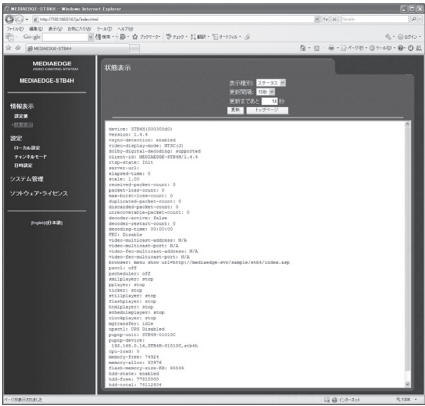
ホームURL	ホームURLを表示します。
アイドルモード	アイドルモードの有効/無効を表示します。
アイドル時間	アイドル状態と判断するためのタイムアウト時間を表示します。
表示コンテンツ	アイドル時間経過後に表示するコンテンツURLを表示します。
飛び先ページ	表示したコンテンツの停止後に移動するページURLを表示します。
OSD表示モード	OSDモードの設定を表示します。
OSD表示時間	OSD表示モードが自動のときのOSD表示時間を表示します。
ジャンプ時間	コンテンツ再生中にリモコンの ◀▶/▶▶ ボタンを押したときのジャンプ時間を表示します。
エラーポップアップ表示	ポップアップ表示の動作を表示します。
ローカルメニュー表示順序	本製品では使用しません。
ローカルメニュールートディレクトリ設定	本製品では使用しません。
ローカルメニュー表示対象コンテンツ	本製品では使用しません。

## ●チャンネルモード

デフォルトコンテンツURL	デフォルトコンテンツのURLを表示します。
チャンネル設定	設定されているチャンネルのタイトルとURLを表示します。

情報表示・状態表示

MEDIAEDGE-STB4Hの内部ステータスおよび各種ログを表示します。



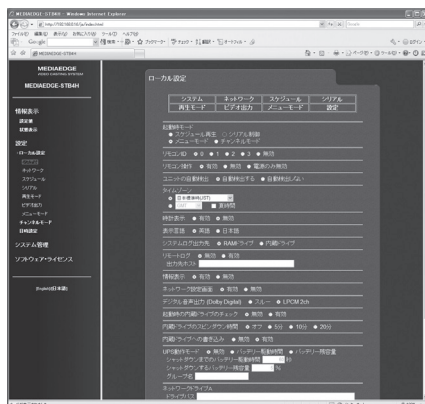
表示種別	ログの種類を[ステータス]、[動作]、[再生]、[転送]の項目から選択して表示します。
更新間隔	ログの更新間隔を指定します。動作ログ選択時のみ手動更新となります。
更新まであと	ログ更新までカウントダウンします。

## 設定 - ローカル設定

ローカル設定画面ではシステムに保存されているローカル設定を変更します。設定内容を保存する場合、右上の[設定]をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。


\*ユーザー名は、工場出荷時はadminに設定されています。

\*パスワードは、工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。



### ●システム

起動時モード	MEDIAEDGE-STB4H起動時のモードをメニューモード/チャンネルモードから選択します。スケジュール再生、シリアル制御は、本製品では使用できません。
リモコンID	MEDIAEDGE-STB4Hが操作を受け付けるリモコンのIDを設定します。「無効」にするとリモコン操作を受け付けません。送信機のリモコンIDの設定方法は本書『Appendix』を参照してください。
リモコン操作	リモコン操作の有効/無効の切り替えおよび電源のみ無効を設定します。電源のみ無効を選択時、リモコンの[POWER]ボタンによるPower Offが無効となります。
ユニットの自動検出	本製品では使用しません。
タイムゾーン	世界の地域別標準時間帯に関する設定を行います。NTPを使用する際にはタイムゾーンが正しく設定されている必要があります。

時計表示	現在時刻の表示/ 非表示の切り替えを行います。
表示言語	MEDIAEDGE-STB4Hで表示する言語を設定します。
システムログ 出力先	本製品では使用しません。
リモートログ	リモートログ出力の有効/無効を設定します。有効の場合は出力先ホスト(ホスト名またはIPアドレス)を設定します。
情報表示	画面にシステム情報を表示する機能の有効/無効を設定します。
ネットワーク設定 画面	起動時にリモコンの  ボタンで「MEDIAEDGE-STB4H Network settings」の表示/非表示を設定します。
デジタル音声出力 (Dolby Digital)	Dolby Digital音声をデジタル出力(S/PDIF, HDMI)する際の処理を設定します。 スルー: Dolby Digital音声のまま出力します。 LPCM 2ch: LPCM 2chにダウンミックスして出力します。
音量	AUDIO OUT、HDMI端子から出力される音量を設定します。通常は0(ミュート)～50(0dB)の範囲で設定します。51(+1dB)～74(+24dB)に設定すると音声が増大されますが、コンテンツによっては音声が歪むことがあります。
起動時、内蔵ドライブのチェック	本製品では使用しません。
内蔵ドライブのスピンダウン時間	本製品では使用しません。
内蔵ドライブへの書き込み	本製品では使用しません。
UPS動作モード	本製品では使用しません。
ネットワークドライブ	本製品では使用しません。



## ●ネットワーク

IPv6	IPv6の有効/無効を設定します。
IPv4アドレス設定	IPアドレスの取得方法および詳細設定を行います。[次のIPv4アドレスを使う]にチェックをつけた場合、[IPアドレス]、[サブネットマスク]および[デフォルトゲートウェイ]の設定が可能となります。
DNSサーバー設定	DNSサーバーの取得方法および詳細設定を行います。[DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、DHCPを使用してDNSサーバーのアドレスを取得し、[次のDNSサーバーを使用する]にチェックを付けた場合は、優先DNSサーバー、代替DNSサーバー、DNSドメイン名を設定します。
NTPサーバー設定	NTP (Network Time Protocol) サーバーを利用した時刻補正について設定します。[NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、DHCPを使用してNTPサーバーのアドレスを取得し、[次のNTPサーバーを使う]にチェックを付けた場合は、使用するNTPサーバー(サーバー名、またはIPアドレス)を設定します。更新間隔は[NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する]、[次のNTPサーバーを使う]のどちらにチェックを付けた場合でも設定する必要があります。
ホスト名	ホスト名を設定します。
DHCPによる自動設定・更新	MEDIAEDGE-SVS4付属の「ベンダ固有情報設定ツール」を使用することでDHCPによる自動設定やファームウェアの自動更新を行えます。
SNMP	ネットワーク接続された機器を一括管理するプロトコルであるSNMPに関する設定を行います。
Samba共有	本製品では使用しません。

DGCP	<p>ポート番号： DGCPで使用するポート番号を設定します。</p> <p>マルチキャストアドレス： DGCPで使用するマルチキャストアドレスを設定します。</p> <p>グループID： 所属するグループのグループIDを設定します。</p> <p>認証： 認証方法を設定します。</p> <p>リモコン処理： リモコン操作を受信した時の動作を設定します。</p>
バッファリング時間	ストリーミング再生時のバッファリング時間（映像遅延時間）を0/200/500/1000ミリ秒の中から設定します。
FEC	FEC (Forward Error Correction) の有効/無効を選択します。
RTSPキープアライブ	RTSP (Real Time Streaming Protocol) キープアライブの有効/無効を設定します。
RTSPキープアライブ失敗時の再接続	RTSPキープアライブ失敗時の再接続の有効/無効を設定します。
RTSPエラー時のリトライ動作	MEDIAEDGE-SVS4やMEDIAEDGE-LEB4がRTSPエラーレスポンスを返した場合、RTSP接続をリトライするかを設定します。

### ●スケジュール

コンテンツドライブ	本製品では使用しません。
スケジュールファイル	本製品では使用しません。
チャンネル	本製品では使用しません。

### ●シリアル

シリアルポート機能	シリアルポートの機能を、[無効]、[リモートシリアル]から選択します。[シリアル制御] および [スケジュールコマンド] は本製品では使用できません。
通信速度	シリアルポートの通信速度を設定します。
データビット長	シリアルポートのデータビット長を設定します。
パリティ	シリアルポートのパリティ(データの誤りを検出する技法)を設定します。

ストップビット長	シリアルポートのストップビット長を設定します。
フロー制御	シリアルポートのフロー制御を設定します。
リモートシリアル	<p>リモートシリアル機能を設定します。</p> <p>連動（ストリームサーバー）：接続しているストリームサーバーにシリアルコマンドを送信します。</p> <p>固定接続：指定したホストコンピュータに対してシリアルコマンドを送信します。</p> <p>サーバー動作：待機ポートに接続してきたホストとの間でシリアルコマンドを送受信します。</p>
接続先ポート番号	シリアルコマンドの送信先のポート番号を設定します。
待機ポート番号	シリアルコマンドの受信に使用するポート番号を設定します。
プロトコル	通信プロトコルを設定します。TCP、UDPより選択します。
ログ出力	ログ出力の有効/無効を設定します。シリアルポート出力で流れている通信データの出力状況をログ出力する場合は、[有効]を選択します。

### ●再生モード

シーク後の映像表示	本製品では使用しません。
複数台同期モード	本製品では使用しません。

### ●ビデオ出力

表示モード	モニタへの出力モードを設定します。HDMIモニタが対応していない表示モードを指定した場合、表示モードは自動的に設定されます。
色空間(HDMI)	HDMI出力での色空間規格を選択します。HDMIモニタが設定した色空間規格に対応していない場合、色空間は自動的に設定されます。
RGB出力レンジ(HDMI)	<p>HDMI端子からRGB出力する際の出力レンジを設定します。</p> <p>16-235：RGB 16～235の範囲で設定します。</p> <p>0-255：RGB 0～255の範囲で設定します。</p>

ストリーム色空間の強制設定	<p>使用する素材にあわせて[ストリーム色空間の強制設定]を以下のように設定してください。</p> <p>無効: ストリーム色空間の強制設定を行いません(自動設定)。</p> <p>BT.709 (HD): HD素材を使用する場合に選択します。</p> <p>BT.601 (SD): SD素材を使用する場合に選択します。</p>
モニタアスペクト	表示に使用するモニタにあわせてアスペクト比を設定します。
4:3モニタへ映すときのモード	4:3モニタ出力時の映像表示方式を設定します。
OSD色深度	OSD表示の色深度を指定します。HDMI出力時にH.264/AVCのコンテンツをOSD表示と同時に再生する場合は16bppを指定してください。
OSD背景色 (RRGGBB)	OSDの背景色を16進数で指定します。
ストリームが途絶えた時の表示	<p>MEDIAEDGE-SVS4 やMEDIAEDGE-LEB4 からのストリームが再生中に途絶えたときのビデオリージョンの表示を設定します。</p> <p>OSD背景色： OSD背景色(RRGGBB)で設定された色を表示します。</p> <p>最終フレーム： 動画の最後のフレームを表示し続けます。</p>
クローズドキャプション	<p>入力ストリームに含まれる字幕情報(CEA-608規格)をビデオ信号に合成して出力します。</p> <p>アンシラリデータ：</p> <p>以下の場合にはチェックを付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MEDIAEDGE LEB Proから配信されるストリームに含まれるクローズドキャプションを表示する場合</li> <li>・MEDIAEDGE-SVS4から配信されるH.264のストリームに含まれるクローズドキャプションを表示する場合</li> </ul>

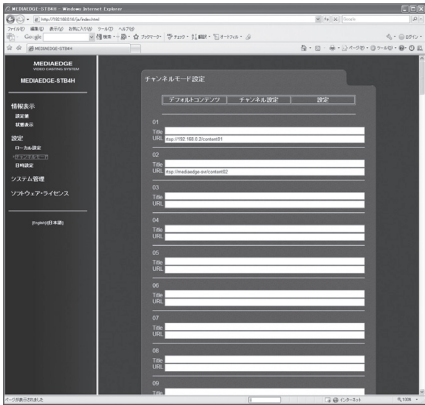
## ●メニューモード

ホームURL	メニューモード起動時に表示するURLを指定します。
アイドルモード	アイドルモードの設定を行います。アイドルモードの有効/無効、アイドル状態の有効時間、アイドル時間経過後に表示するコンテンツ（表示コンテンツはRTSP URLで指定、動画コンテンツのみ対応）、表示コンテンツの停止後に移動するメニューページ（HTML）を設定します。リンク先を空欄（ブランク）にした場合は元のページへ移動します。
OSD表示モード	OSD表示モードの設定を行います。 オフ： OSD表示を行いません。 自動： OSD表示を行い、自動で消去します。 手動： ユーザー操作により、OSD表示/非表示を切り替えます。
OSD表示時間	OSD表示モードが自動のときのOSD表示時間を設定します。
ジャンプ時間	コンテンツ再生中にリモコンの ◀▶ / ▶▶ ボタンを押したときのジャンプ時間を設定します。
エラーポップアップ表示	ポップアップ表示の動作（静止/非表示/移動）を設定します。 [移動]を選択することで、画面の焼き付けを軽減することができます。
ローカルメニュー表示順序	本製品では使用しません。
ローカルメニュールートディレクトリ設定	本製品では使用しません。
ローカルメニュー表示対象コンテンツ	本製品では使用しません。

設定-チャンネルモード

設定内容を保存する場合、右上の[設定]をクリックし、ユーザー名とパスワードを入力後、[設定]ボタンをクリックしてください。

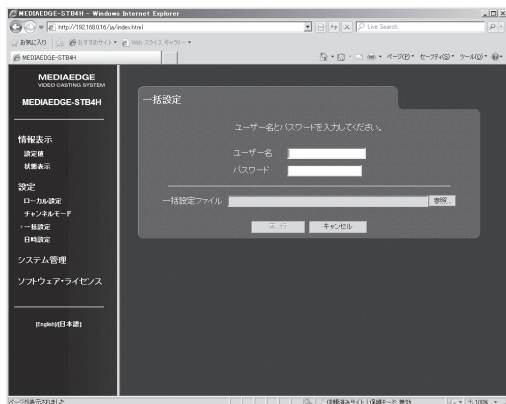
- \*ユーザー名は、工場出荷時はadminに設定されています。
- \*パスワードは、工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。



デフォルトコンテンツ	デフォルトコンテンツのURLを指定します。空欄の場合は黒画面が表示されます。 例：       rtsp://MEDIAEDGE-SVR/Content01
チャンネル設定	設定したタイトルとURLを99個まで登録できます。 タイトル：   コンテンツのタイトルを設定します。 URL：        コンテンツのURLを設定します。 例：        rtsp://MEDIAEDGE-SVR/Content01

## 設定一括設定

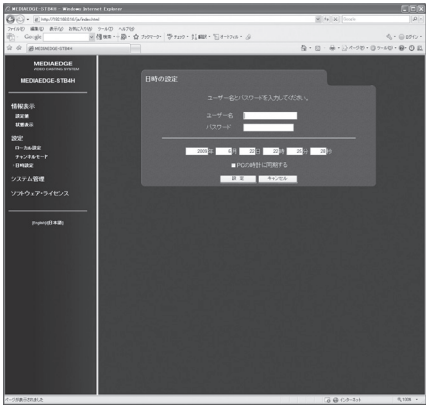
一括設定ファイルにより設定値を一括で設定します。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。
一括設定ファイル	一括設定ファイルが存在するパスを設定します。[参照]ボタンをクリックして一括設定ファイルを選択します。一括設定ファイルは「システム管理 - 情報の取得 - 設定値の取得」により取得することが可能です。

設定-日時の設定

日時の設定を行います。設定を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



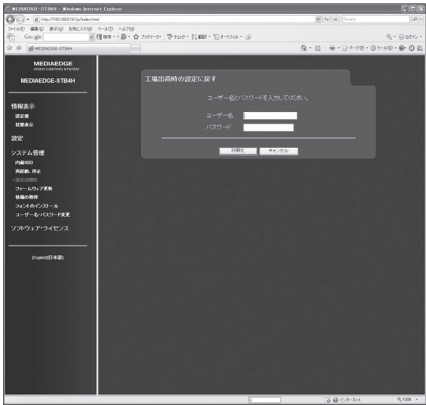
ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。
年/月/日/時/分/秒	MEDIAEDGE-STB4Hの日時を設定します。
PCの時計に同期する	PC内蔵時計の時間と同期させる場合はチェックをつけます。チェックをつけると現在のPC内蔵時計の時間が表示されます。





システム管理・設定初期化

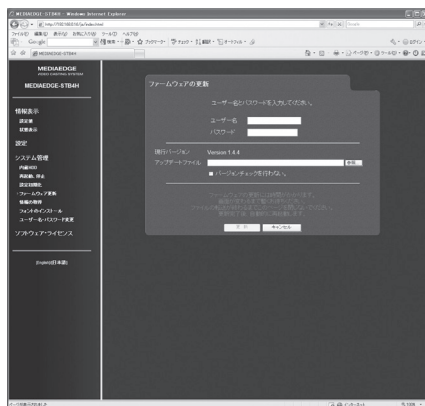
システムを工場出荷時の設定に戻します。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。

## システム管理-ファームウェア更新

ファームウェアを更新します。ファームウェアの更新を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



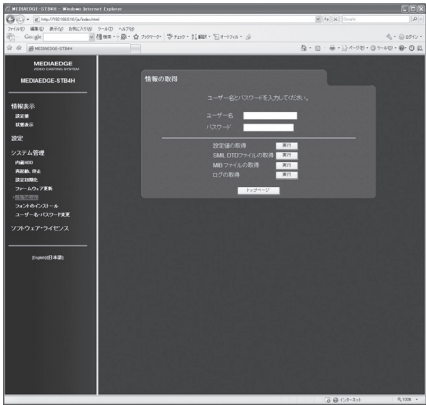
ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。
現行バージョン	現行バージョンを表示します。
アップデートファイル	アップデートファイルが存在するパスを設定します。 [参照...]ボタンをクリックしてアップデートファイルを選択します。
バージョンチェックを行わない	ファームウェアのバージョンチェックを行わず、強制的にファームウェアを更新します。

### 注意

[ファームウェアの更新]画面で「バージョンチェックを行わない」にチェックを付けることでファームウェアのバージョンを下げるができます。この場合は必ず"stb4h\_full\_x.x.x.system"のように"full"と表記されているファームウェアを使用してください。

システム管理 - 情報の取得

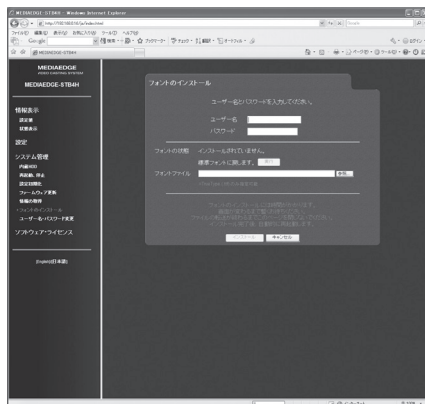
MEDIAEDGE-STB4Hの設定やログをファイルとして出力します。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。
設定値の取得	MEDIAEDGE-STB4Hの設定情報を取得する場合に使用します。このファイルはDHCPによる自動設定で使用します。使用する場合はMEDIAEDGE-SVS4の[ベンダ固有情報設定ツール]に設定ファイルのURLを指定してください。([ベンダ固有情報設定ツール]については「MEDIAEDGE-SVS4 User's Guide」を参照してください。)
SMIL DTDファイルの取得	SMIL DTD(Document Type Definition)ファイルを取得する場合に使用します。
MIB ファイルの取得	SNMPで使用するMIB(Management Information Base)を取得する場合に使用します。
ログの取得	動作ログを取得する場合に使用します。

## システム管理-フォントのインストール

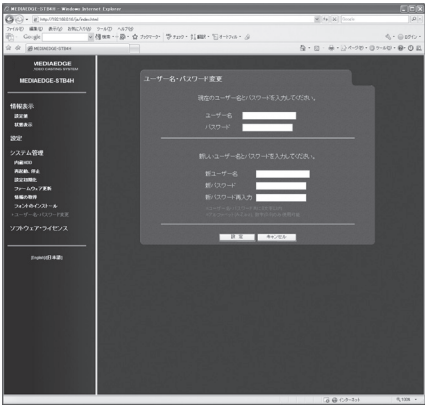
MEDIAEDGE-STB4Hへのフォントのインストールを行います。実行する場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	ユーザー名を入力します。工場出荷時はadminに設定されています。
パスワード	パスワードを入力します。工場出荷時は空白(ブランク)に設定されています。
フォントの状態	インストールされたフォントを表示します。
標準フォントに戻します。	初期状態の標準フォントに戻します。
フォントファイル	インストールするフォントファイル名を指定します。TrueType (.ttf)フォントのみ指定可能です。

システム管理-ユーザー名・パスワードの変更

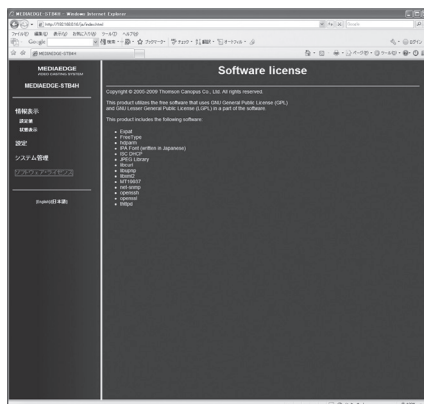
ユーザー名・パスワードを変更します。変更を行う場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。



ユーザー名	現在設定されているユーザー名を入力します。
パスワード	現在設定されているパスワードを入力します。
新ユーザー名	新たに登録するユーザー名を入力します。
新パスワード	新たに登録するパスワードを入力します。
新パスワード再入力	新たに登録するパスワードを再入力します。

## ソフトウェア・ライセンス

本システムで使用しているソフトウェアのライセンス情報を表示します。



## 2 ファームウェアのアップデート

### 2-1 Webブラウザによるアップデート

- (1) MEDIAEDGE-STB4Hと接続するPCにファームウェアをコピーします。
- (2) Webブラウザを使い、MEDIAEDGE-STB4H Webコンソールを呼び出します。
- (3) ファームウェアの更新を選び、ファイルを指定して更新を行います。
- (4) 更新完了後、MEDIAEDGE-STB4Hは自動的に再起動します。

#### 注 意

[ファームウェアの更新]画面で「バージョンチェックを行わない」にチェックを付けることでファームウェアのバージョンを下げるすることができます。この場合は必ず"stb4h\_full\_x.x.x.system"のように"full"と表記されているファームウェアを使用してください。

### 2-2 DHCPによるアップデート

MEDIAEDGE-SVS4付属の[ベンダ固有情報設定ツール]を使用して、MEDIAEDGE-STB4Hの起動時に自動的にファームウェアをアップデートすることができます。詳細はMEDIAEDGE-SVS4付属のマニュアルを参照してください。

#### 注 意

- ・アップデート中にコンテンツの再生やリモコン操作などを行わないでください。
- ・アップデート中にMEDIAEDGE-STB4Hの電源を絶対に切らないでください。



## 3 メンテナンスモード

### 3-1 メンテナンスモードとは

MEDIAEDGE-STB4Hのメンテナンスモードは、前項「2 ファームウェアのアップデート」においてファームウェアの更新に失敗し、MEDIAEDGE-STB4Hが正常に起動しなくなった場合、もしくは[ユーザー名・パスワードの変更]画面で変更したユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合などの緊急復旧用プログラムです。

ファームウェアの更新では通常の更新ファイルではなく、メンテナンスモード専用の更新ファイルを使用します。

#### 接続と設定

- (1) RS-232Cポートを備えるコンピュータとMEDIAEDGE-STB4Hをシリアルクロスケーブルを使って接続します。
- (2) コンピュータ上でターミナル通信ソフトを起動してください。

通信パラメータは以下のとおりです。

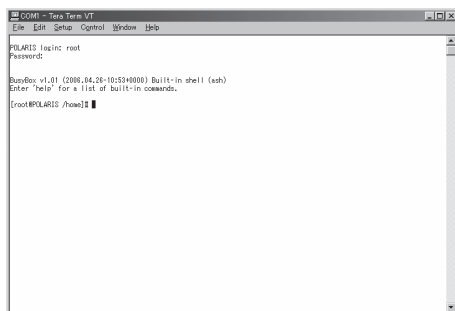
ボーレート：	115200bps
データビット長：	8ビット
ストップビット長：	1
パリティ：	なし
フロー制御：	なし

**注**

- ・メンテナンスモードを使用する際、本書に記載された以外の操作は行わないでください。予期しない操作によりファームウェアが壊れる恐れがあります。

## 起動方法

電源が投入されている状態で、リセットを押し続けてください。しばらくすると、ターミナル通信ソフトの画面上にPOLARIS login:と表示されます。



(1) この状態で以下のように入力してください。

```
POLARIS login: root
Password: polaris
```

※パスワードを入力しても画面上には何も表示されません。

(2)ターミナル通信ソフトの画面上に以下のように表示されます。

```
Busybox v1.01 (2006.04.26-10:53+0000) Built-in shell (ash)
Enter 'help' for a list of built-in commands.

[root@POLARIS/home]#
```

※ユーザー名やパスワードを正しく入力していない場合は、手順1の画面が繰り返し表示されます。

## 3-2 ファームウェアの復旧

### IPアドレスの設定

DHCPが使用可能でない場合、IPアドレスを設定します。

※ここでは設定するIPアドレスが192. 168. 0. 16の場合を例に説明しています。

※DHCPが使用可能な場合は、DHCPによりIPアドレスが割り当てられています。

(1) 以下のように入力し、IPアドレスを設定してください。

```
[root@POLARIS /home]# ifconfig eth0 192.168.0.16
```

(2) IPアドレスを確認する場合は、以下のように入力してください。

```
[root@POLARIS /home]# ifconfig
```

### ファームウェアのダウンロード

WebサーバーもしくはFTPサーバーからメンテナンスモード更新用のファームデータをダウンロードします。

※ここではファームウェアが格納されているFTPサーバーのIPアドレスが192. 168. 0. 2の場合を例に説明しています。

(1) 以下のように入力し、ファームウェアをダウンロードしてください。

```
[root@POLARIS /home]# cd /tmp  
[root@POLARIS /tmp]# wget ftp://192.168.0.2/stb4h_mnt.x.x.x.tgz
```

※ x.x.x はバージョン番号です。

### ファームデータの復旧

ファームウェアの復旧を行います。

- (1) 以下のように入力し、ファームウェアを復旧してください。

```
[root@POLARIS /tmp]# tar zxvf stb4h_mnt.x.x.x.tgz  
[root@POLARIS /tmp]# ./up
```

※ 再び[root@POLARIS /tmp]#と表示されるまで操作を行わないでください。

### システムの再起動

システムを再起動します。

- (1) 以下のように入力し、システムを再起動してください。

```
[root@POLARIS /tmp]# reboot
```

### 3-3 ユーザー名・パスワードを忘れてしまった場合

ユーザー名もしくはパスワードを忘れてしまった場合には、MEDIAEDGE-STB4Hを工場出荷時の設定に戻すことができます。初期化完了後、ユーザー名はadmin、パスワードは空白(ブランク)となります。初期化完了後は通常モードで起動してください(ユーザー名、パスワード以外の設定値も初期化します)。

- (1) 以下のように入力し、MEDIAEDGE-STB4Hを初期化します。

```
[root@POLARIS /home]# setdef
```





# Appendix

### 1 制限事項

- MEDIAEDGE-STB4HでHDとSDコンテンツのシームレス再生を行うと、内蔵のMPEGデコーダデバイスが停止(ハングアップ)する可能性があります。
- MPEG-2/H.264など圧縮形式の異なるコンテンツ間のシームレス再生は対応できません。
- MPEG-1の再生は対応していません。
- H.264と静止画、Flash、HTML、テロップの混在表示を行うとOSD表示が正しく行われないことがあります。この場合は[設定-ローカル設定]-[ビデオ出力]の"OSD色深度"を"16bpp"に設定してください。
- 1つのRTP(Real-time Transport Protocol)に格納するTS/パケット数が7～31のとき、FEC処理時の再生可能最大ビットレートは15Mbpsで、TS/パケット数が32以上のときはFEC処理時の再生可能最大ビットレートが25Mbpsです。
- FEC有効時はストリームサーバーの設定により再生遅延が大きくなる場合があります(RTPに格納するTS/パケット数、FECパラメータなどに依存します)。また、RTPのTS/パケット数やFECパラメータの数値を大きくすると、内部メモリの不足によりコンテンツ再生が正常に行われない場合があります。



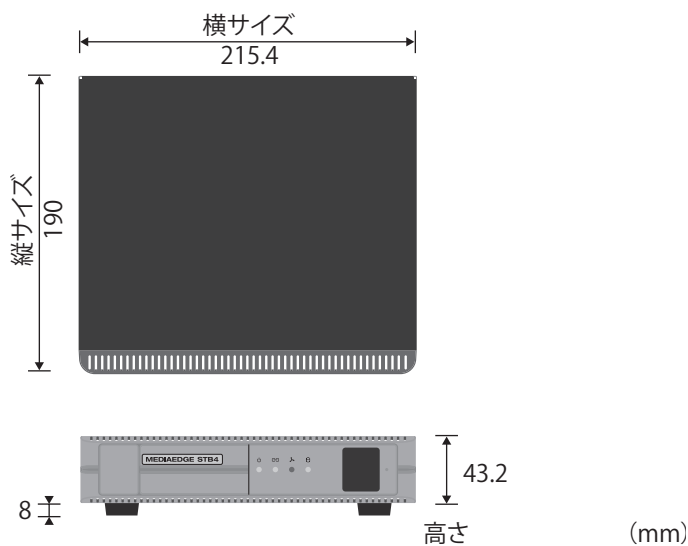
## 2 ハードウェア仕様

### MEDIAEDGE-STB4H

ネットワークインターフェース		
形式	100Base-TX、1000Base-T Ethernet／IEEE802.3フレーム形式に準拠 オートネゴシエーション対応 フルデュプレックス対応	
端子	RJ45モジュラジャック × 1	
映像出力		
480/59.94i(NTSC形式)	SD信号	
576/50i(PAL形式)	端子	コンポジット出力端子× 1 (適合負荷インピーダンス：75Ω)
1080/59.94p (HDMI)	デジタル信号	
1080/50p (HDMI) 1080/59.94i (HDMI) 1080/50i (HDMI) 720/59.94p (HDMI) 720/50p (HDMI) 720x480/59.94p (HDMI) 720x576/50p (HDMI) 640x480/59.94p (HDMI)	端子	HDMIコネクタ× 1
音声出力		
アナログ音声出力	形式	ステレオライン出力（不平衡）
	端子	左チャンネル ピンジャック× 1（白） 右チャンネル ピンジャック× 1（赤）
	最大出力レベル	2Vrms @R <sub>L</sub> =10kΩ
	負荷インピーダンス	10kΩ 以上を推奨
デジタル音声出力	形式	S/PDIF 同軸
	端子	ピンジャック× 1（黒）
	出力レベル	0.5V @R <sub>L</sub> =75Ω
	適合負荷インピーダンス	75Ω

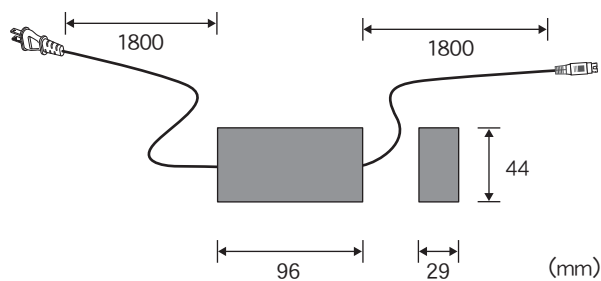
リモートコントロール		
赤外線ワイヤレスリモートコントロール	ワイヤレスリモコン	赤外線受光部× 1
汎用入出力		
シリアルポート	形式	RS-232C
	端子	DSUB-9ピン（オス）× 1
USBポート	形式	USB2.0準拠
	端子	USB type A x1(バスパワー500mA) USB type A x1(バスパワー100mA)
定格		
電源電圧	ACアダプタ	入力：AC 100V～240V（50Hz/60Hz） 出力：DC 12V 3A（max）
	本体	入力：DC 12V 2.9A（max）
温度条件	動作温度範囲	5～40℃ *結露なきこと。
動作姿勢	水平	
その他		
外形寸法	W215.4 x D190 x H43.2mm （端子、突起物、ゴム足含まず）	
質量	約1.5kg	

## ●MEDIAEDGE-STB4H 本体



※空冷ファンの吸気、排気を妨げないよう空間を設ける事。

## ●ACアダプタ



### 3 リモコンIDの設定

各リモコンにIDを0番から3番まで、割り当てることができます。IDの割り当ては電池ケースをとりはずした場所にあるディップスイッチで設定します。



ボタン操作でID変更可能（全部 OFF：出荷時）



ID0固定（1のみ ON）




ID1固定（2のみ ON）

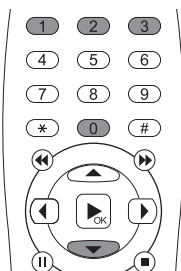



ID2固定（3のみ ON）



ID3固定（4のみ ON）

ボタン操作でのID割り当てにはリモコンの0～3までの数字ボタンと  ボタンを使用します。工場出荷時のIDは0番に設定されています。ここではIDを2番に設定する手順を例に説明します。



①リモコンの  ボタンを押しながら、② ボタンを1秒以上長押しします。

**注 意**

ID設定が変更されても警告音が鳴るなどの合図はありません。

## 4 コネクタピン配置

### 100Base-TX/1000Base-T Ethernet(LAN)

RJ45

Pin#	Signal Name
1	TP0+
2	TP0-
3	TP1+
4	TP2+
5	TP2-
6	TP1-
7	TP3+
8	TP3-

